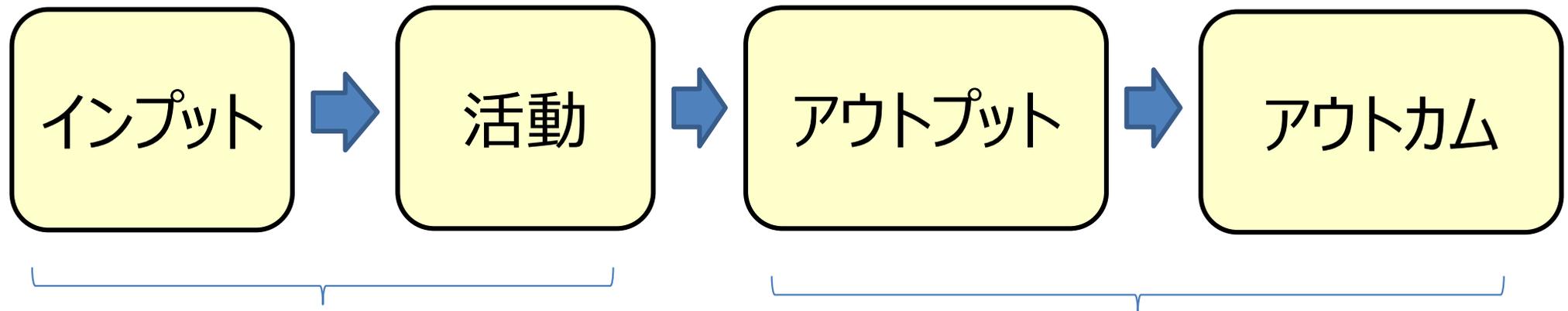


# ロジックモデルとは

- 事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋を体系的に図示化したもの
- インプット、活動、アウトプット、アウトカムを矢印でつなげる



## 実施者が行うこと

実施者がプログラムに投資するもの  
(例：資金、人材、時間、設備、技術など)

プログラムで行うこと  
(例：教育、食事の提供、指導)

## その成果

プログラム活動の直接の成果  
どれだけの活動が提供されたか  
(例：教育を受けた人数、講義回数など)

プログラムによって対象者にもたらされた利益  
プログラムによって何が変わったのか (例：知識の変化、態度の変化)

# ロジックモデルの作成手順

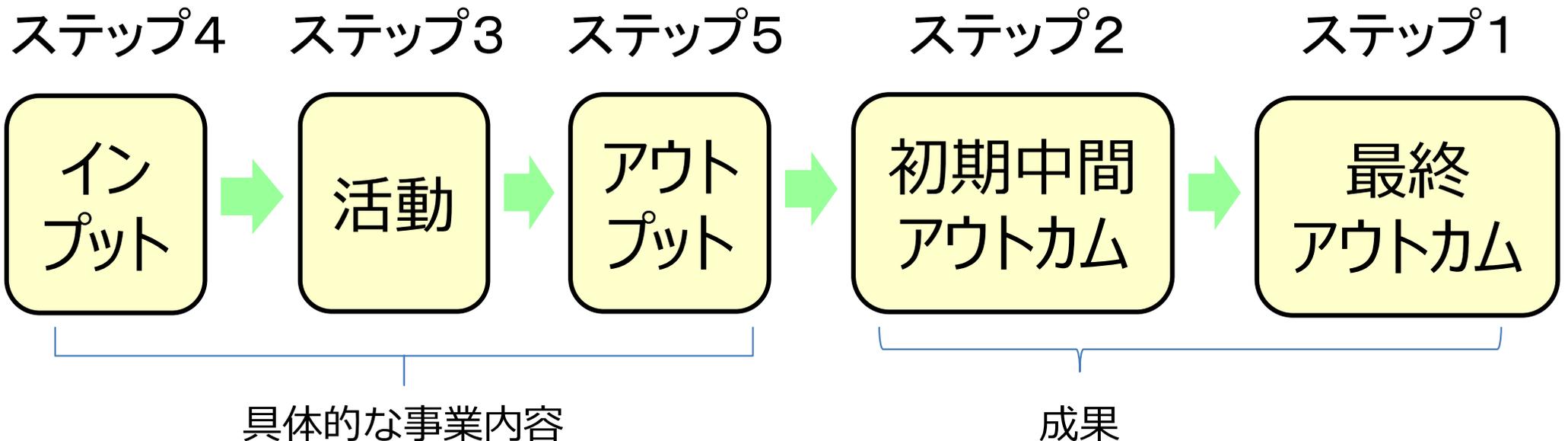
ステップ1:最終アウトカムを決める

ステップ2:初期中間アウトカムを決める

ステップ3:活動を決める

ステップ4:インプットを決める

ステップ5:アウトプットを決める

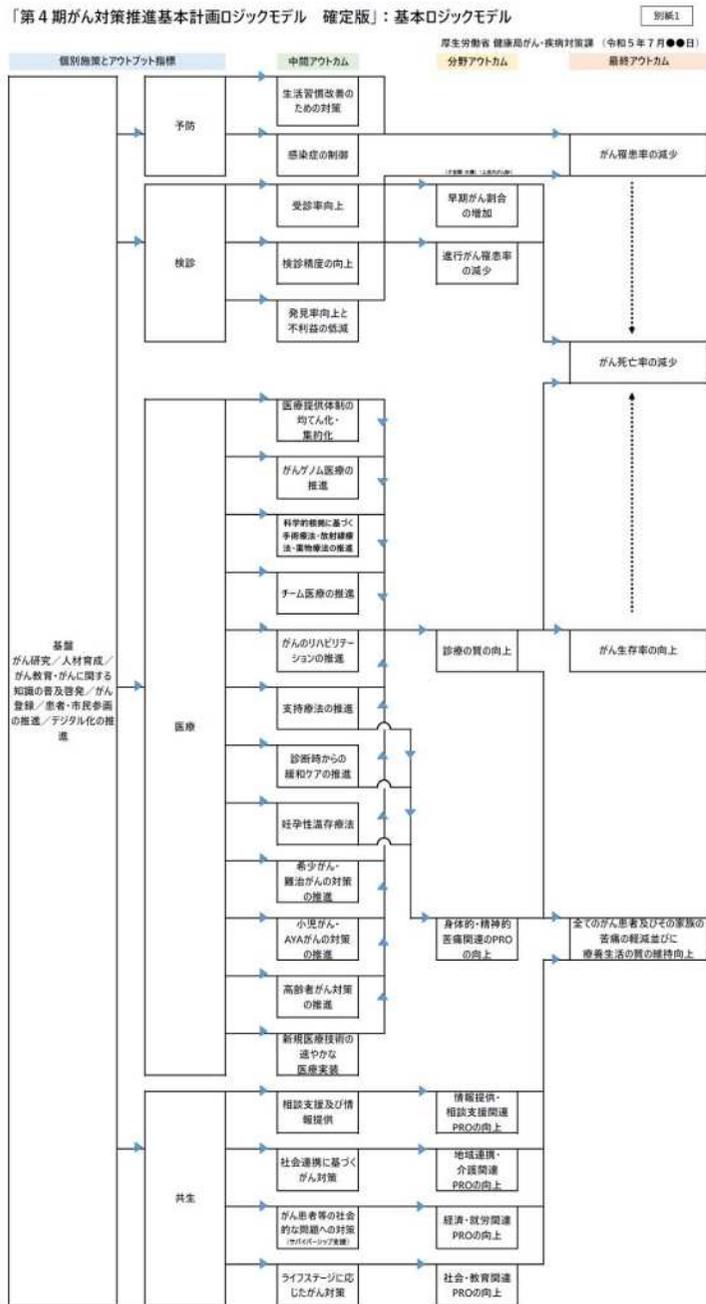


矢印は「もし・・・ならば、どうなる」(if-then)を意味する。  
推論のチェーン(chain of reasoning)

# がん対策推進基本計画における ロジックモデル作成の目的

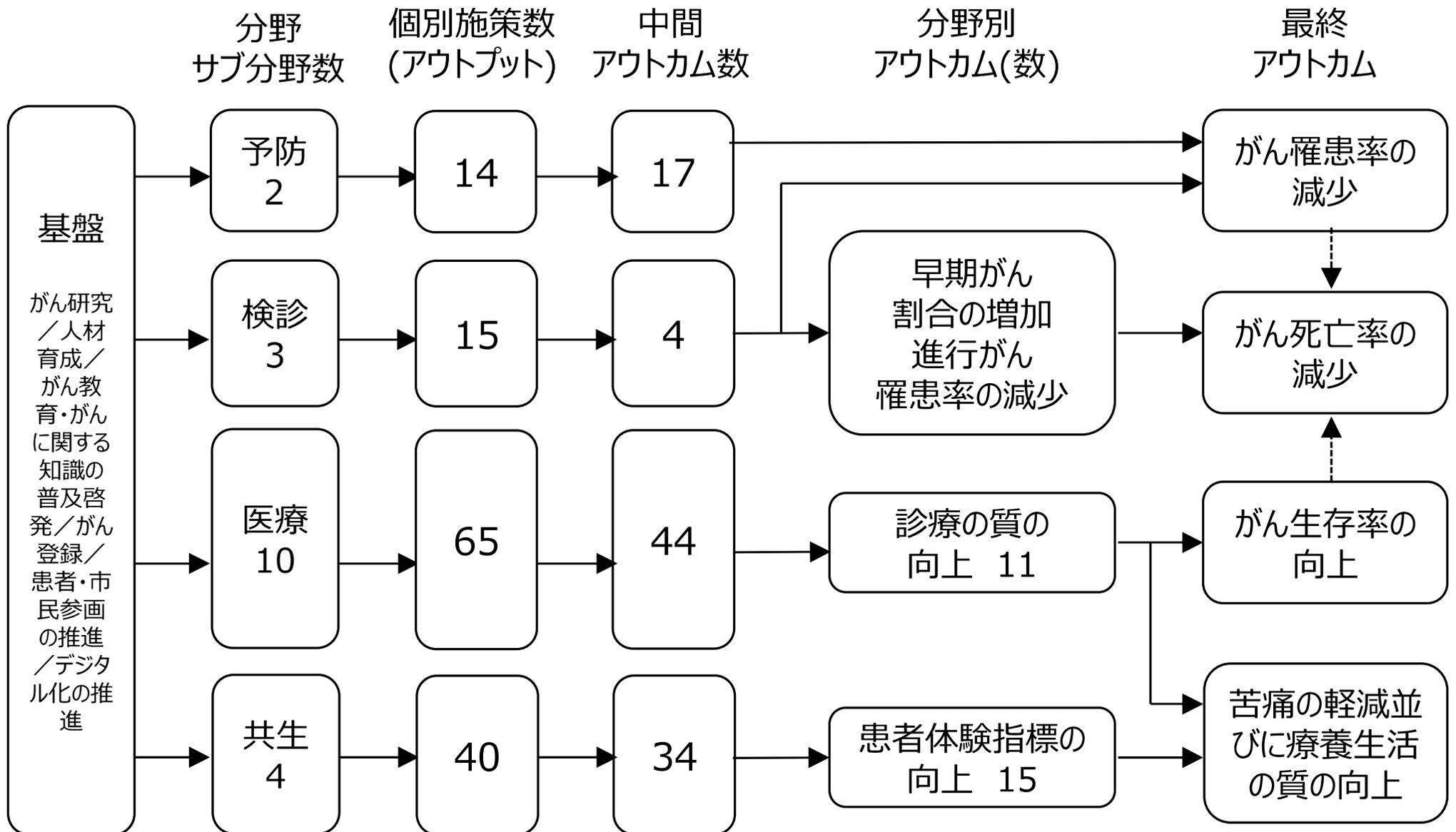
1. 構成を図示して、全体像を把握する。
2. アウトカムを共通認識として共有する。
3. 個別施策とアウトカム（中間、分野別、最終）のつながりを確認することにより、個別施策の適切さを検討する。
4. 指標を設定して、評価につなげる。

# 1. 構成を図示して、全体像を把握する。

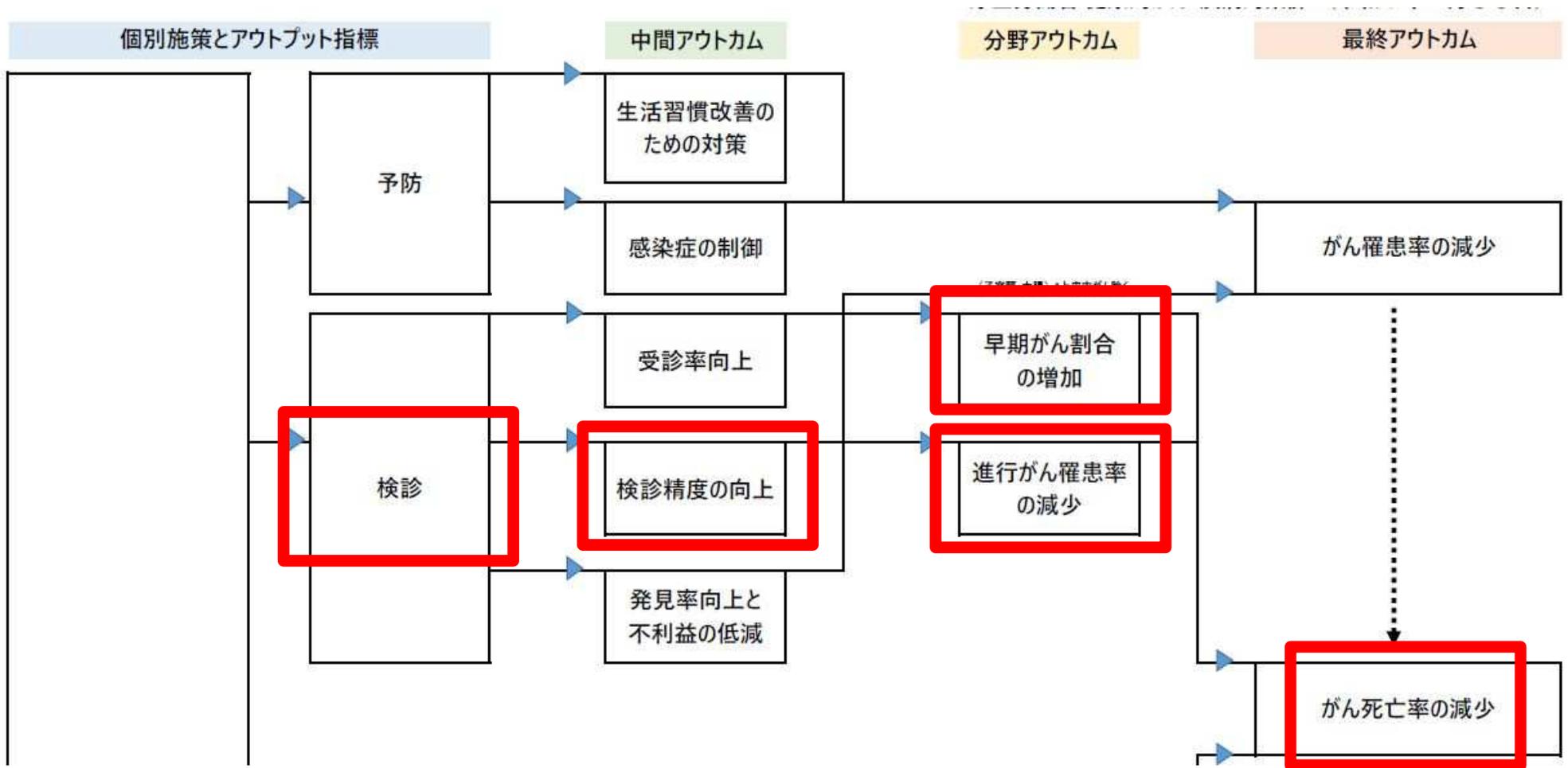


## 2. アウトカムを共通認識として共有する。

### 第4期がん対策推進基本計画 ロジックモデル：基本ロジックモデル



### 3. 個別施策とアウトカム（中間、分野別、最終）のつながりを確認することにより、個別施策の適切さを検討する。



## 4. 指標を設定して、評価につなげる。

### がん対策推進基本計画における指標について

- 指標は、公開されたデータソースがあり、適切な目標値の設定と評価が可能なものを中心に検討する。

#### 指標のデータソース

- 通常指標（死亡率、罹患率、喫煙率、検診受診率）
  - がん登録（全国がん登録、院内がん登録全国集計等）
  - その他の既存統計  
人口動態統計・国民健康栄養調査・地域保健事業報告・国民生活基礎調査等
- 患者体験指標（満足度、痛み、不安）  
【Patient Reported Outcome (PRO)】
  - 患者体験調査
  - 遺族調査

- 都道府県単位で評価ができる指標が望ましい。
- 必要に応じて、格差を検討する（地域、施設、特性別）。
- 全体の指標数について、管理可能な数にとどめる。